

民生福祉常任委員会記録
(所管事務調査分)

令和元年 1 2 月 5 日

【開催日】 令和元年12月5日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午後2時25分

【出席委員】

委員長	大井 淳一朗	副委員長	水津 治
委員	河崎 平男	委員	杉本 保喜
委員	松尾 数則	委員	矢田 松夫
委員	吉永 美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

福祉部長	兼本 裕子	福祉部次長	川崎 浩美
福祉部次長	岩佐 清彦	高齢福祉課長	麻野 秀明
高齢福祉課技監	河野 静恵	高齢福祉課課長補佐	河田 圭司
高齢福祉課主査	篠原 紀子	高齢福祉課主査兼地域包括支援センター所長	荒川 智美
高齢福祉課高齢福祉係長	古谷 雅俊	高齢福祉課介護保険係長	藤永 一徳
国保年金課長	梅田 智幸	国保年金課課長補佐	石橋 啓介
国保年金課主査兼特定健診係長	石井 尚子	国保年金課主査兼国保係長	伊藤 佳和子
国保年金課収納係長	山田 幸生	国保年金課年金高齢医療係長	三隅 貴恵
障害福祉課長	柏村 照美	障害福祉課技監	岡村 敦子
障害福祉課障害福祉係長	大坪 政通	障害福祉課障害支援係長	岡手 優子
市民部長	城戸 信之	市民部次長	藤山 雅之
市民課長	古谷 昌章	市民課主幹	藤上 尚美
市民課戸籍係長	別府 奈緒美	市民課住民係長	岡崎 さゆり
病院事業管理者	矢賀 健	病院局事務部長	國森 宏
病院局事務部次長	和氣 康隆	病院局総務課主幹	藤本 義忠
病院局医事課主査	佐々木 秀樹	病院局総務課経理係職員	岩本 隆嗣

【事務局出席者】

事務局長	沼口 宏	事務局主査	島津 克則
------	------	-------	-------

【付議事項】

- 1 議案第87号 令和元年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）について（国保）
- 2 議案第89号 令和元年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予

- 算（第1回）について（国保）
- 3 議案第88号 令和元年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第2回）について（高齢）
 - 4 議案第95号 山陽小野田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について（市民）
 - 5 議案第96号 山陽小野田市障害福祉サービス事業所条例の一部を改正する条例の制定について（障害）
 - 6 議案第92号 令和元年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第1回）について（病院）
 - 7 所管事務調査 病院事業報告について（病院）

午前9時 開会

- 1 議案第87号 令和元年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）について（国保）
（記録については議案分に記載）
- 2 議案第89号 令和元年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）について（国保）
（記録については議案分に記載）

午前10時25分 休憩

午前10時35分 再開

- 3 議案第88号 令和元年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第2回）について（高齢）
（記録については議案分に記載）

午前11時 休憩

午前11時10分 再開

- 4 議案第95号 山陽小野田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を

改正する条例の制定について（市民）

（記録については議案分に記載）

- 5 議案第96号 山陽小野田市障害福祉サービス事業所条例の一部を改正する条例の制定について（障害）

（記録については議案分に記載）

午前11時48分 休憩

午後1時 再開

- 6 議案第92号 令和元年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第1回）について（病院）

（記録については議案分に記載）

- 7 所管事務調査 病院事業報告について（病院）

【議事の概要】

- ・令和元年患者数等の動向及び資金繰り8月～10月分の報告（別添資料のとおり）
- ・市民病院経営会議概要9月～11月開催分の報告（別添資料のとおり）

【主な質疑】

吉永美子委員 7か月経過し、医業収益は予算に対し55%である。予算上の収益をどうやって確保するのか。

國森病院局事務部長 4月から6月は入院患者が少なかった。9月以降は堅調に推移しており、通常の日候であれば持ち直すのではないかと。また、地域連携強化の一環で診療所と意見交換を行っている。

吉永美子委員 収入を増やすため、健診にも力を入れるべきではないかと。

矢賀病院事業管理者 脳ドックについても実施可能か検討したい。健診については非常勤医師で対応しているが、常勤の医師が確保できれば件数も増やせるのではないかと。医師確保に努力したい。

大井淳一郎委員長 診療所との連携に取り組んでいるが、紹介率は改善しているか。

矢賀病院事業管理者 10月に情報交換会を行い、10月、11月は紹介患者数が増えているが、全体の新患が増えたので、紹介率は0.6%の増である。

松尾数則委員 9月以降は堅調とのことだったが、9月以降も入院患者数は予算上の月平均入院患者数に達していない。どのように考えているのか。

矢賀病院事業管理者 上半期は非常に悪かった。病床稼働率約85%で予算を組んでいるが、10月以降持ち直し、10月は約83%、11月は約86%で推移している。

水津治副委員長 医業損益が昨年度は4億2,000万円の赤字で、今年度は赤字が半減するという予算を組んでいるが、現在の見込みはどうか。

藤本病院局総務課主幹 入院患者数は予算を下回り、外来患者数は予算どおりだが、入院患者、外来患者とも平均単価が上がっている。現在の段階では予算に向かって努力していくとしか言えない。

水津治副委員長 損益計算に関連し、今後、長期前受金戻入がなくなるのではないかと。何らかの対策が必要ではないか。

藤本病院局総務課主幹 長期前受金戻入は一般会計繰入金を一旦バランスシートに計上し、年度ごとに収益化するものであり、なくなることはない。減価償却費が収益を圧迫しているが、今後減少するので、収支全体は改善傾向である。

吉永美子委員 診療所との意見交換会では、どのような意見があったのか。

國森病院局事務部長 入院を受けてもらえるかといった意見や、地域医療構想再検証病院の意見があった。また、医師同士で顔の見える関係が構築できた。

吉永美子委員 診療所との意見交換会は初めて行ったのか。

矢賀病院事業管理者 初めてである。

吉永美子委員 今後、定期的に行っていくのか。

矢賀病院事業管理者 定期的に行う予定である。市民病院の医師全員参加で、年1回行いたい。

矢田松夫委員 12月1日現在で医師は何名か。

矢賀病院事業管理者 常勤医師26名である。

矢田松夫委員 市民病院の役割として、地域医療を守るため、巡回診療などの話は出ないのか。

矢賀病院事業管理者 会議で議論したことはないが、医師が確保できれば出向くこともできる。

水津治副委員長 施設外の清掃作業を職員がしているが、定期的に行っているのか。

和氣病院局事務部次長 不定期で何回か行った。

松尾数則委員 救急患者の受入れについて協議しているが、これは受入れが難

しいという話なのか。

矢賀病院事業管理者 上半期は入院患者が少なかったなので、患者数を増やすために、昼間の救急についてはお互いがカバーし、受入れを増やした。

吉永美子委員 議会報告会で「市民病院は予約しても待ち時間が長い」という意見があった。経営会議でそういった話が出ているか。

矢賀病院事業管理者 患者からの投書もあるので議論になっている。どこの段階で待ち時間が長くなっているか協議している。

吉永美子委員 改善策は議論していないのか。

矢賀病院事業管理者 今のところ改善策はない。

吉永美子委員 呼び出しホンを活用しているか。

和氣病院局事務部次長 10台導入し、外来窓口に設置しているが、現在の利用状況については把握していない。

吉永美子委員 呼び出しホンの利用について、患者に声掛けをしているか。また、10台で足りているのか。

和氣病院局事務部次長 声掛けはしていないが、呼び出しホンについての表示はしている。10台で足りないことがなかったので、増やしてはいない。

矢賀病院事業管理者 待ち時間には不満を持っていても、病院の中で待つ人が多いということである。

河崎平男委員 市民病院と理科大との連携事業はあるか。

矢賀病院事業管理者 今後やっという合意はできており、協力関係は発展していくと思っている。

午後2時25分 散会

令和元年12月5日

民生福祉常任委員長 大井 淳一郎